

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第2号

令和6年5月1日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

新しいもの・新しい価値を協働して生み出していこう

さあ、以下のような課題にあなたなら、どう考え、どう取り組んでいきますか。

- ・自分が働くときに働き方はどうなっているのでしょうか。

職場に行く？ テレワーク？ 買い物に行く？ 通販？ 現金は必要？

- ・アフターコロナになりましたが、コロナ前と今とでは何が変わったのでしょうか。
- ・少子化の中でロボットをどう活用していけばよいのでしょうか。

飲食店などでは活用され始めています。

- ・人間らしく生きるためにA I をどのように活用していけばよいのでしょうか。

Google のような検索エンジンと生成A I の違いは分かりますか。

今は誰もが Google で検索できます。10 年前はそうではありませんでした。同じように 10 年後は生成A I を誰もが使いこなしていると考えられます。新しいことに挑戦するチャンスです！

- ・ドローン配送はいつごろ実現するのでしょうか。

私ではなくて誰かが解決してくれるだろうと考えていませんか。でも、それは違うのです。みんなが問題を解決していく当事者なのです。何年間もかけて変化しながら解決していくものなのです。きっとライフワークになるものもあります。

予想がつかない大変な時代を支えていくのはみんななのです。**新しいものを創る発想がなくても発想を持っている人と協働して、創っていけばよいのです。新しいものを創っていくには、いろいろな役目を持った人が必要なのです。コミュニケーションスキルを磨いて、社会に貢献して、生きがいを見つけましょう。**

つばさ総合高校では、これらの時代を生き抜くために「つばさスキル」の育成を目指しています。協働・コミュニケーションスキルを意識して、学び合う授業を実践しています。発表する機会も多く、スマホの活用はもちろん、生徒一人PC1台に対応した授業も進化しています。一緒に新しい学びを創っていきましょう。そして、翼を大きく広げ、社会へ羽ばたいていきましょう。

つばさスキルとは以下の6つの力のことです。

- ① 主体性（主体的に物事に取り組む力）
- ② 批判的思考力（物事の善し悪しを判断する力）
- ③ 創造力（新しい価値観を生み出す力）
- ④ コミュニケーションスキル
- ⑤ 傾聴力
- ⑥ 表現力

これらの中で意外と難しいのが傾聴力です。まずは「聞く」と「聴く」と「訊く」の違いは分かりますか。

聞く：音声を受動的に耳に入ること。受け身で話を聞くとき。

聴く：相手に寄り添い、相手の背景や気持ちを含めて能動的に話を理解すること。

「傾聴力」は英語で Active Listening とも呼ばれています。

訊く：人に何かを尋ねること。興味のある事柄や情報について誰かに質問するとき。

傾聴力とは、相手が話している事実や解釈といった表層的な事柄から、相手の話の背景にある価値観や気持ちといった深層的な事柄まで、相手の話の理屈を深く理解し共感しながら話を聴く力のことです。

この傾聴力は、授業・学校行事・部活動・委員会活動すべてにおいて、意識して生活することで身につけていきます。そして、少しずつ相手のことを理解する力がつき、人間関係を良好に保てるようになっていきます。これが協働につながっていくのです。

本校にはこの傾聴力がある生徒が多くいます。学校としては傾聴力が育つように、**生徒の主体的な活動**を見守っています。個人レベルで学校見学に来て、生徒と触れ合ってみてください。普通科と総合学科の違いを肌で感じるとと思います。